

9月14日(月曜日)「敵を愛せ(1)」

【新改訳 2017】

ルカ 6.27-36

「……あなたの敵を愛しなさい。あなたを憎む者に善を行いなさい。あなたをのろう者を祝福しなさい。あなたを侮辱する者のために祈りなさい。」(27、28 節)

敵を愛することなど果たしてできるのだろうかーこれが私たちの最初の印象ではないでしょうか。当時のユダヤ人たちの間にもなかった教えだったと言われます。「敵」は憎み、のろい、侮辱し、襲撃し、奪い取ろうと、いろいろな方法や手段で挑戦してくるでしょう。

旧約聖書の時代には、「目には目、歯には歯」という同態復讐法が説かれました。しかし、主イエスは、「愛」によって、すなわち善意、祝福、祈り、与えることなどによって応答しなさいと教えられたのです。

このことは、現実の律法を無視することではありません。主の教えは個人的な倫理とその心、すなわち愛を教えたものです。主ご自身の十字架上の死は、典型的な模

範です。主の弟子である者は、主の愛によって生きるべき
ではないでしょうか。

～祈り～

主よ。敵を愛することなど生来の私にはできません。しかしあ
なたは、あなたに敵対していた私をも救ってくださいました。
あなたの愛で、敵を愛せる者と変えてください。

【学びのために】

同態復讐法について:これは公的な償いのおきて。無制限な
報復を抑さえるために定めたもの。同量の報復をもって満足
すべきことを規定したもの(出エジプト 21.23-25、レビ
24.19-20 参照)。主イエスは、まったく別の道を教え、また、実
践されたのでした。